

【上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査予約票】

(患者様用)

患者氏名 _____ 様
生年月日 _____
検査日 _____ 月 _____ 日
午前 _____ 時 _____ 分 からの予約です。

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)は口(または鼻)から内視鏡を挿入して、食道・胃・十二指腸の一部を観察、診断する検査です。



【検査を受ける患者様へ<当日の流れ>】

受付時間 予約時間10分前にご来院ください。
受付場所 病院案内・受付(正面玄関を入ってすぐ左側です)
持ち物 診療情報提供書(紹介状)、本紙、
健康保険証(マイナ保険証も対応しております)、
当院の診察券(お持ちの方のみ) お薬手帳

【検査にあたっての注意事項】

◆食事制限について

前日の夕食は夜10時までに消化のよい軽い食事にしてください。水分は就寝まで可です。
当日の朝は絶飲・絶食・薬やタバコも止めてください。(コップ1杯程度の水ならば可能です)

◆服装について

検査は私服で行いますので腹部や首もとを締め付けない楽な服装でお越しください。
唾液などで衣服が汚れることもあります。

◆その他

- ・車の運転はお控え下さい。(注射の影響で目のかすみ等の症状が現れることがあります)
- ・鎮痛剤・鎮静剤をご使用された方は、検査終了後院内で2時間の安静が必要となります。
また、当日は車やバイクの運転は禁止です。
- ・検査後1時間ほどは飲食ができません。また、生検をした場合は2~3日は禁酒となります。
喫煙や刺激のある食事も避けて下さい。
- ・都合により予約キャンセルする場合は、紹介医と当院へ早めにご連絡下さい。

◆料金の目安について

内視鏡検査のみ・3割負担(5,000円程度)、内視鏡検査+組織検査・3割負担(10,000円程度)

※「検査の時間は多少前後する場合がありますのでご了承ください。」

国家公務員共済組合連合会 東海病院
地域連携室

TEL 052-711-6131(代)

FAX 052-723-3648(直通)



KKR東海病院

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の説明書

1. 検査の目的、必要性

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）は食道、胃、十二指腸の途中までを、太さ1 cmくらいの内視鏡で観察、診断する検査です。検査にかかる時間は病変の有無によって変わりますが通常は5～15分程度です。バリウム検査に比べて詳しい情報が得られ、組織検査により確定診断が可能です。

2. 検査の内容

- のどの麻酔をしてから検査を行います。検査後1時間は飲食ができません。麻酔薬キシロカイン（リドカイン）にアレルギーのある方はお申し出ください。検査前の注射（ブスコパン）で目がぼやけることがあります。
- 検査中に異常が疑われる場合には、内視鏡から色素液（ヨードやインジゴカルミン）をかけて病変を明らかにして、診断の助けにすることがあります。
ヨードにアレルギーのある方はお申し出ください。
- 良性、悪性の病理診断やピロリ菌感染を調べるために、粘膜の一部を採取する（生検）場合があります。心臓や脳の病気で血液を固まりにくくする薬（ワーファリン、パナルジン、プラビックス、バイアスピリン、バファリン、プレタール、プラザキサ等）を服用中の方はお申し出ください。
- 潰瘍などから出血していたり、または出血しそうな場合には止血処置を行うことがあります。

3. 検査の合併症、偶発症

- 検査後にのどの痛みや少量の出血、胸やけ、腹痛が起きる場合がありますが、ほとんどは2-3日で治まります。
- 重篤な偶発症の頻度は2008-2012年の全国調査報告では生検を含む観察のみの検査件数約1126万件中782件 0.007%（約1万4千件に1回）でした。
死亡例は13例でした。
- 具体的な偶発症は、内視鏡による消化管の損傷や穿孔（傷がついたり穴があくこと）、生検などによる出血、薬のアレルギーや鎮静剤による血圧低下・呼吸抑制、心筋梗塞や脳梗塞の悪化などです。
- 偶発症が起きないように細心の注意を払い検査を行います。万一、偶発症が生じた場合には、最善の処置・治療を行います。入院や再度の内視鏡処置、輸血、外科手術が必要になることもあります。その際の診療も通常の保険診療にて行います。